

切り絵新聞

令和4年5月5日 第92号

本部：群馬県利根郡川場村大字谷地

日本切り絵百景館内

電話：0278-52-2022

全国切り絵同好会発行（会報紙技改称） 発行責任者：後藤 伸行

FAX: 0278-52-2181

過酷な時代にこそ新しい活力をもとめて

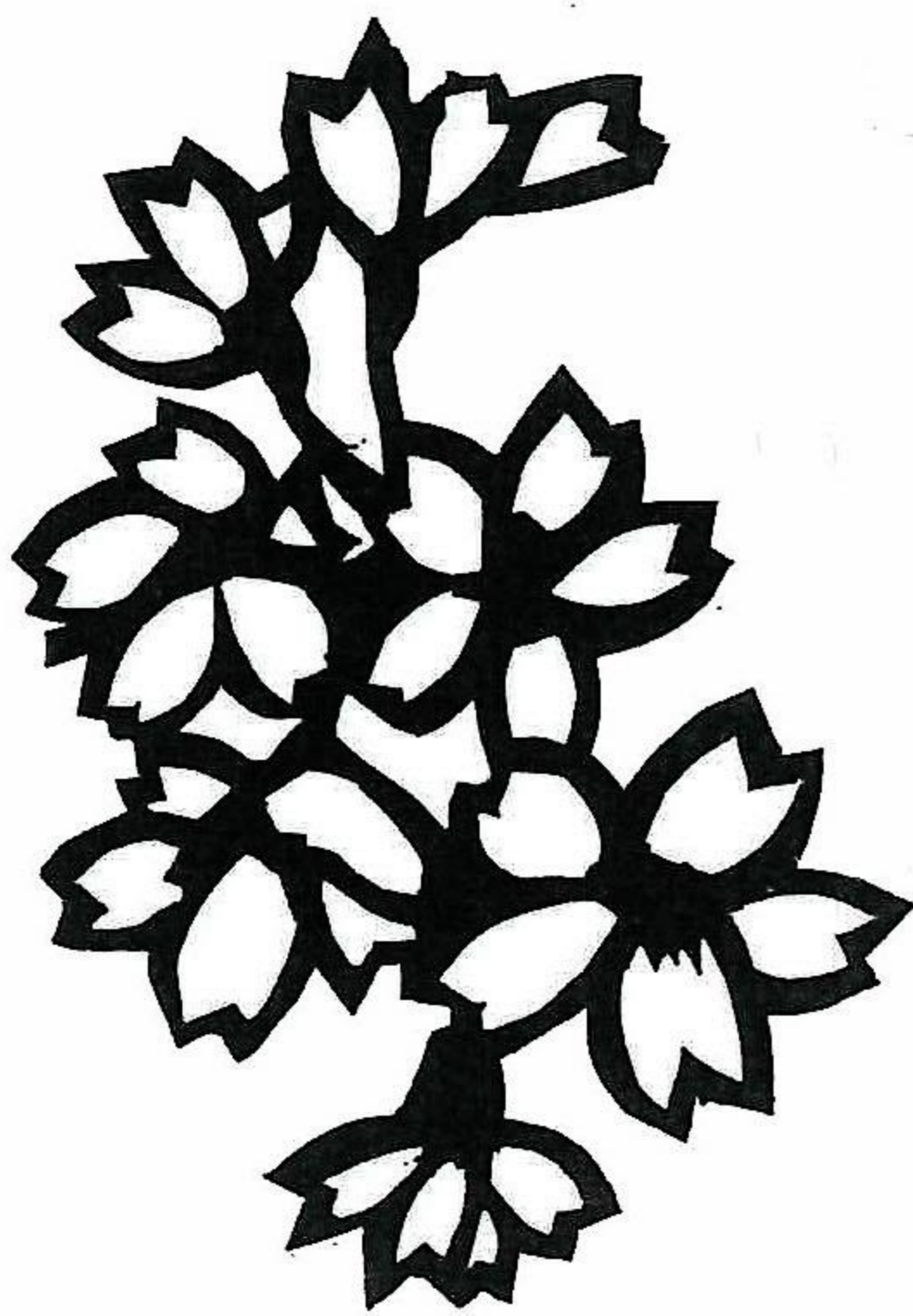
伝統の輝を示そう！

予想もし無かったコロナ禍とロシアのウクライナへの侵攻は、三年にも及ぶ暗い影を地球に落としている。

人との物の流れが停滞すると、あらゆる芸術と文化は萎縮し人々の活気は失われてしまう。今我々は、縄文から現代にいたる幾多の困難を乗り越えてきた民族の心根をおもい、何としても全国を覆う暗雲を取り払い、明るさを執り戻さなければならぬ。

一人一人が抱いている目標

いよいよ全国切り絵同好会では、第三十回全国切り絵コンクールを開催いたします。このコンクールに向けてコツコツと作品をつくられている方も多くとおもいます。すべての芸術は競いあうことによつて輝きをましてゆきます。我々の伝統が必ず大いなる成果を生むことを信じてやみません。



埼玉県切り絵同好会グループ展を終えて 会長 須貝 京子

3月8日から6日間に亘り、「埼玉県小川伝統工芸会館」にて第18回埼玉県切り絵同好会グループ展』を開催しました。

令和2年、3年と新型コロナウイルスの非常事態宣言で中止となり、3年ぶりの開催となっていました。今回は感染防止対策を徹底し、無事に展示会ができました。日頃の成果が発表出来て本当に良かったです。

展示作品は大河を含めて74点。来館者は約400人。体験コーナーは今回出来ませんでした。鑑賞者の方がたから、「白黒で描く切り絵の作り方」や「カラー作品の技法について」等多々質問もあり、皆様どでも熱心に見て下さり、暖かく盛大な展示会となりました。

埼玉県同好会の会員たちが一つになって、前準備から会場の設置、当番、そして最終日までの間、スムーズに進行出来たことに、改めて埼玉パワーを感じました。

早くコロナが収束して来年は安全に開催出来ることを祈りつつ切り絵の創作に邁進したいです。



第三十回全国切り絵コンクール
出品募集中

21世紀全国切り絵コンクール（第30回）募集要項

- ・出品者 年齢は18歳以上 公募
- ・出品の課題 自由
- ・出品作品 1人につき2点まで
モノクロ、カラーを問わない。
額のサイズ（三々）までとする。
- ・額はアクリル板を使用したもの（ガラス板を使用したものは選外）
- ・額装してアクリル面の大きさ 455 mm×606 mm以内
- ・フレームの幅は3センチ以内とする。
モノクロ作品の台紙は白のみとする。
必要な場合は額を補強すること。
- ・同じ下絵から制作されたモノクロとカラー作品は同一作品とみなす。
- ・作品と同時に下記のことを提出して下さい。

作品の元となった写真又はスケッチ画～A4の茶封筒に申込書
と一緒にに入れて額の裏に張り付けること。

- ・著作権違反の作品をチェックするために下絵に於いても他者撮影の写真
出版品、インターネットからの転写は厳禁いたします。
- ・出品の申し込みと作品の搬入

5月31日（必着）をお願いいたします。 **審査日は6月19日（日）**です。

送付先：〒378-0101 群馬県利根郡川場村谷地乙1492

日本切り絵百景館コンクール事務局宛て

- ・申込書は必要事項を記入の上、審査料の払い込み済みの受領証（郵便振替）
のコピーを添付し、封筒に入れて額の裏面に貼って、提出すること
- ・出品票Aは額の裏に、出品票Bは額の包装具に例えば段ボール箱の裏に
出品票Cは包装具の細身部分3か所～上左右に添付すること。
- ・出品料 A審査料 1点6000円 5月31日まで 払込受領証のコピーを
申込書に貼付する。

展示料 入選（入賞・佳作・入選・準入選した作品は）1点につき4,000円を
7月31日までに事務局から送られる通知書により、同封の郵便振替
用紙をもって振り込むこと **（本部会員は2,000円）**

- ・審査 全国切り絵同好会会長ならびに副会長・師範による審査会を開催し、
入選10点、佳作（入賞候補）数点、入選、準入選を決定する。
入選作品の日本切り絵百景館の展示辞退は認めない。

本部会員の登録

本部会員に登録するとコンクールの実績等により、修士、講師、準師範、師範へ
と資格の認定を受けることができます。各級の年会費は異なりますが、生涯
学習のよりどころとなっています。

本部会員になるために2,000円の登録費を本部におさめていただいております。

申込書、作品の搬入締切りは五月三十一日

切り絵の創作にあたっての要点

切り絵の基本

切り絵は「黒い線」を大切にする芸術です。切り絵の形式には黒い線（面）でつながっていることが伝承されてきました。これを接続といいます。コンクールの審査ではこの接続をきほんとして選考いたしますが、次のことは許容しております。

- ☆フレーム（マット）に接する部分
- ☆雪・雨・星
- ☆人や動物の目・鼻・口
- ☆川や沼・海等の表情線
- ☆空の太陽や月・雲や風を表すもの
- ☆空を飛ぶ鳥・飛行機等
- ☆花びらの中の黒点

使用を禁ずる手法と紙

- ☆作品とすべき黒髪に白紙を貼って黒い形や線・点を表すこと
- ☆張り紙やちぎり絵と切り絵の混合絵
- ☆マットは単色のみとする
- ☆黒い線から色紙をはみ出させて表現する作品
- ☆額には金・銀を使用しないこと
- ☆台紙に直接絵の具を塗ったり吹き付けをした作品

カラー作品の留意事項

- 色紙を黒い線の構成の裏から貼付すること
- ☆色は黒い線で囲われること
- ☆蛍光色は使用しないこと
- ☆しわ状の紙・テング紙・柄のある紙・千代紙・金紙・銀紙は使用しないこと

ぼかしについて

- カラーボカシについては黒い線で囲うことが基本ですが、混色の使用を認めることとする
- ☆色の濃淡に段差がついたところは黒い線を入れること（自然に濃淡をつけること）
- ☆同一物体であれば白い色からのボカシを認める
- ☆他の物体との境は黒い線で囲うこと



風の盆

小山 国愛

画集「四季の花々 和の花」について

後藤 伸行

昨年春、切り絵百景館の入口近くに

咲いた「オダマキ」の花を知って、川場富士の山肌にあたって太平洋と日本海の風が入り、こゝ川場は草花の種類が非常に多いところと知りました。

草花に興味を抱いた私は、植物について、少しづつ解説書を読む様になりました。多くの本の中で「芸艸(そうじゆん)堂」より刊行された『四季の花々 和の花』がとても参考になりました。作品が黒い線で囲まれていることに共感を覚えたことにもよります。

二〇〇九年に刊行されたこの本は江戸時代に三人の画家によつて、丁寧に写生された約千種の花を木版画化し、四季に分類し、

芸艸堂より刊行された図譜です。日本画

家はもとより、工芸家が参考にしてきたものでありますさらに染織研究家の藤井健三氏が「和花の意匠と文化」と題して日本人の和の美意識に対する変遷を記した解説により多くのことを学ぶことができます。

万葉集によつて歌われた花々、桜や梅の花に加えて、平安時代になると唐様式が参加し、大型の花が「雅」の極致として宮中などで競われました。武士が台頭した鎌倉時代には、さらに唐文化の台頭が支持され、禅宗が栄えて仏教に係わる花が脚光を浴びる様になり、供花として扱われる花や禅寺の庭にうえられる「沙羅双樹や、椿、南天、枇杷、沈丁花、水仙」いった質素ながら庭に映える樹花が定着しました。

伝統の猿樂や田楽から能楽が、薬茶から侘びの茶道が、和歌から連歌へと変容をみせ、能では蓬菜の花が、茶では野辺の花が、立花では新規の格式の花が成立したのとあります。江戸期には和花にとどまることのない思いはなくなり、さまざまな外来種がみられるようになりました。

江戸期には庶民も加わつて芍薬、椿に菊、朝顔、桜などの改良に熱中したとあります。今我々は江戸期の努力を享受しているのであります。

江戸から明治への大変動期にあつて、琳派の酒井抱一、鈴木其一、中野其明の画家が、たゆまぬ努力を継承し、今日にこのような画集を伝えてくれたことに感謝を捧げるものであります。

四季の花々、「和の花」は定価二五〇〇円
発行所・芸艸堂にお問合せ下さい。

電話 〇三―三八一八一―三八一一